

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M211N210	小児・母性疾病論 ( <i>Pediatric, Gynecologic, and Obstetric Disease</i> )	専門基礎科目 健康科学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	2	前	火・5 水・5	井上亮、井原健二 (小児科学講座) 小林栄仁 (産科婦人科学講座) 内線：5051 E-mail：ryo@oita-u.ac.jp

#### 【授業の概要・到達目標】

小児期に好発する呼吸器、消化器疾患、循環器疾患、神経疾患、腎臓疾患、感染症及び新生児疾患を理解する。婦人科では子宮頸がん、性感染症などの婦人科疾患の病態生理、症状、検査、治療を理解する。産科では正常妊娠・正常分娩・正常産褥および妊娠高血圧症候群、前期破水などの異常妊娠、遷延分娩などの異常分娩を理解する。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 小児期に特有な疾患を理解する	○						
2. 婦人科疾患の病態生理、症状、検査、治療を理解する	○						
3. 妊娠の生理・病態を理解する	○						
4. 分娩の生理・病態を理解する	○						
5. 産褥の生理・病態を理解する	○						

#### 【授業の内容】

1～7	小児科：①呼吸器疾患 ②消化器疾患 ③循環器疾患 ④神経疾患 ⑤腎疾患 ⑥感染症
8～10	婦人科：①子宮頸がんと卵巣腫瘍、②性感染症、③更年期障害
11～15	産科：⑤妊婦健診、⑥異常妊娠、⑦正常・異常分娩、⑧正常・異常産褥、⑥不妊症

#### 【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	小テスト
B：意見の表現・交換		
C：応用志向		
D：知識の活用・創造		

#### 【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	次回の学習内容について予習する。(8h)
事後学修	前回の授業で学習した内容を復習する。(8h)

#### 【教科書】

メディカ出版 小児看護学③ 小児の疾患と看護  
 メディックメディア 病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科第4版、2018  
 メディックメディア 病気がみえる vol.10 産科第4版、2018

#### 【参考書】

標準産科婦人科学 医学書院、プリンシプル産科婦人科学 メジカルビュー社  
 Williams Obstetrics McGraw-Hill など

#### 【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
期末試験 (筆記試験)	100%	○	○	○	○	○

#### 【注意事項】

講義日程については後日掲示する。担当教官によっては月曜1限以外の講義も行われる。

【備考】原則として、火曜日5限は小児科学講座担当、水曜日5限は産科婦人科学講座担当である。

担当教員の実務経験の有無	○	
		産科婦人科学講座医師および小児科学講座医師
教員の実務経験		医師
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容		各疾患の解剖、生理、病理、病態や治療について専門的見地から講義を行う。
授業形態		対面授業